

様式 1

**環境保全行動** 計画提出書  
自動車使用管理

2022 年 7 月 29 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 060-8556

札幌市中央区南1条西17丁目

氏 名

北海道公立大学法人 札幌医科大学

(代表者名)

理事長 山下 敏彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、**環境保全行動** 計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		81 学校教育												
事業の規模	従業員数	2,398		人	原油換算した		11607.5		kl					
	使用床面積	171,821		m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数				台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	24900		エネルギー起源CO <sub>2</sub>	メタン	N <sub>2</sub> O	HFC	t-CO <sub>2</sub>						
			非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>							
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)					<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項							
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)					<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 2 項							
計画書の担当部署		担当部署名		担当者氏名		電話/FAX		電子メールアドレス						
計画期間		2022	年	4	月	1	日	～	2025	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	<input type="checkbox"/> 有 (認証名 ) <input checked="" type="checkbox"/> 無												
	その他	建物増築等による二酸化炭素排出量基準数値の変更												

別添

環境保全行動計画書  
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

北海道公立大学法人 札幌医科大学  
・行動規範  
7. 地域・地球環境を守り、環境の保全・改善のために行動します。

2 行動目標

【計画期間】

2022年 4 月 1 日～ 2025年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
省エネルギーシステムにより二酸化炭素排出量の削減	29,932	t	5 %	28,400	t	ESCO事業前(H16～H18の平均値)に床面積増加分を考慮	電気・都市ガス(燃料)
			%				
			%				
			%				
			%				
			%				

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2022 年度	2023 年度	2024 年度
削減によるエネルギー削減による二酸化炭素	省エネルギーシステムの運用継続(2022~2024)	管財課	管財課			
省エネ活動の削減による二酸化炭素	夏季の省エネ強化月間の取組	管財課	全員			
	昼休みの消灯	管財課	全員			
	玄関・EVホールや廊下の照明を間引く	管財課	全員			
	トイレ・廊下等の不要な照明を消す	管財課	全員			
同上	OA機器は省エネモードを活用する	管財課	全員			
	設備の運転効率を上げるため、定期的なメンテナンスを行う	管財課	管財課			

#### 4 環境保全に係る実施組織体制

事務局管財課長…省エネ法・温対法による、二酸化炭素の削減を実施



機械設備係(電気設備係+管財係)



エネルギー施設の整備(ハード面の改善)

各種取組の企画、立案、職員への啓蒙活動

省エネ法の取組と同調した二酸化炭素削減(省エネルギーシステムの推進、実施検証)

◎改正省エネ法によるエネルギー管理体制が義務づけられたので、その体制と一体とした環境への取組を実施する。

エネルギー管理統括者(事務局長)

エネルギー管理企画推進者(エネルギー管理員)

本学のエネルギー管理規程を作成し、上記管理者等を含めた組織体制を構築した。

#### 5 その他(環境保全活動の取り組み等)

--